こども

かごしま 子育てナビ

教えて？ パパが育休取るには？

働きながら子育てにも関わりたいというパパが増えている。育児休業ってどうやって取ったらいいの？ 勤務先とのトラブルを防ぐコツは？ 育休を経験したパパや鹿児島労働局の担当者に聞いた。

育休は男女問わず原則、公務員は子どもが3歳になるまで、民間は1歳（両親共に取る場合は1歳2カ月）に達するまで取得できる。配偶者の就労状況は問わない。

鹿児島市職員の森満誠也さん(30)は4月、10カ月の長女のため1カ月間育休を取った。「子どものあらゆる〝初めて〟の瞬間に立ち会えたのは大きな喜び。家事と育児の大変さがわかり、母親の偉大さを実感した」と話す。

森満さんは当初、4月から1年間休業したいと考えていた。だが、給与の67%にあたる「育児休業手当金」は1歳に達するまでしか支払われない。妻は無職なので、長女が1歳を過ぎると実質「無収入」になるため休業は1カ月が精いっぱいだった。「1歳以降も手当を受け取れると思っていた。制度をよく理解してもっと早く取っておけばよかった」と悔しさもある。

◆◇◆

鹿児島製茶（鹿児島市）は、厚生労働省の「子育てサポート企業」（プラチナくるみん）に認定されている。妻が出産予定の男性社員には個別に、連続で最低5日の育休取得を呼び掛ける。このほか、「子の看護休暇」を、小学生以下の子を対象に時間単位で取れるようにしたり（法律では未就学児が対象で、1日または半日単位）、保育園の行事や授業参観など幅広い目的に利用できる「育児目的休暇」を設置したりと力を入れる。

営業部の木佐貫将太さん(31)は昨年、長女が2カ月のときに5日間取得した。「子どもができるとわかったら上司に相談し、制度の説明を受けて取るのが自然な流れになっている」と話す。

ただ、一般に男性の取得日数は女性よりも大幅に短いのが現実だ。同社でも、女性のように数カ月～1年取得する男性はまだない。総務部の担当者は「誰もが育休の権利者であるという意識を持ち、男性も長く休業できるよう、業務を分担してカバーする体制を整えたい」。

鹿児島労働局雇用環境・均等室の担当者は「企業は、働き盛りの男性が育休を取ると、業務にしわ寄せがあると考えがちだが、育児と仕事を両立できる環境を整えることが、人材確保や長期的に会社の成長につながると考え方を変えて」と呼び掛ける。

職場の制度を確認 ＊ 申し出は書面で

育休について語り合う保護者ら ＝鹿児島市

◆◇◆

取得の回数は原則、日数にかかわらず、子1人につき1回だが、出生後8週間以内に一度取得して復職すれば、再度取得できる。また、休業中は賃金は支払われないが、育休の開始から6カ月間は賃金の67%、その後1歳（夫婦ともに育休を取る場合は1歳2カ月）に達するまでは50%にあたる給付金を受け取れる。

有期契約労働者も①同一の事業主に1年以上雇用されている②子が1歳6カ月に達する日までに労働契約の期間満了が明らかでない―ことを満たす場合に休業できる。

労働局の担当者は「育休を取るには、まず会社の制度をよく確認し、早めに相談すること。申し出は休業開始予定日の1カ月前まで。トラブルを避けるために書面を提出して」とアドバイスする。

鹿児島労働局雇用環境・均等室は、育休に関する相談を受け付けている＝099(223)8239。（門間ゆきの）

子育ての悩みや疑問などを下記までお寄せください。

子どもの風景 こころをつなぐ 2

かのや乳児院施設長 躯川 恒

児相の役割を知ろう

今回は児童相談所（以下、児相と表記）についてのお話です。特に近年は虐待に関する報道等でも名前はよく見かけますが、詳しくは知らないという方も少なくないと思います。

数年以内には中核市である鹿児島市が新たに児相を設置するという話も出ていますが、現在は鹿児島県内に3カ所、中央（鹿児島市）、大隅（鹿屋市）、大島（奄美市）があります。その業務や役割は多岐にわたりますが、大別すると次の3点です。

・家庭などからの児童に関する相談に専門的知識や技術をもって応じる。（専門的相談機関）

・市町村との連絡調整、情報提供や共有、援助を行う。（市町村の後方支援）

・状況に応じて子どもを児相内で一時保護、あるいは乳児院、児童養護施設、里親等に養育の委託をする。（一時保護や施設入所）

何よりも「子どもの最善の利益」を最優先に考えることになっています。所長など管理職の他に児童福祉司、児童心理司、里親推進員、医師（精神科・小児科）などがおり、養護、保健、障がい、非行など子どもに関するあらゆる相談を受け付ける行政機関です。

先の東京や千葉での悲しい事件でも、児相職員が謝罪する場面が報道され、児相を批判するニュースや発言も多く聞かれました。最近では全国の児相に対し、児童虐待に関する相談件数が爆発的に増えており、調査では20年前の25倍にもなっていますが、児相や職員の数はほとんど変わっていませんし、特に鹿児島県は東京都と並び児童福祉司1人あたりの担当件数が非常に多いのが現状です。

また、児相といえども決して万能ではなく、法律や制度の壁にぶつかり対応に苦慮する場面もあるため、近年は市町村、福祉施設、医療機関、教育機関、警察など関係機関との連携や協働が求められています。批判するのは簡単ですが、私たちも児相の業務や役割をきちんと理解すると同時に虐待問題を児相任せにするのではなく、通告義務を持つ市民の一人であることを意識していくことも大切だと思うのです。

子どもに関する相談に応じる鹿児島県中央児童相談所 ＝鹿児島市桜ケ丘6丁目

くがわ・ひさし氏 1968年生まれ。関東学院大学文学部社会学科社会福祉コース卒。九州乳児福祉協議会会長。鹿児島県内の保育士や子育て支援関係者向け、里親研修などで子育てに関する講師を務める。

おでかけ情報

◆ママズクラブシアター「コンフィデンスマンＪＰ」 30日午後0時20分、鹿児島市のＴＯＨＯシネマズ与次郎。照明は明るめ、チャイルドシート用意、「赤ちゃんの泣き声やおしゃべりはお互いさま」の環境。3歳以上は通常料金が必要。

◆「絵本時代劇 痛快！ねぎぼうずのあさたろうとはじめての雅楽の旅」 6月16日午後2時、霧島市のみやまコンセール。絵本作家飯野和好さんが「ねぎぼうずのあさたろう」を声優の平野文さんと読み語る。雅楽ユニット「中村さんち」が演奏。演奏体験も。一般2000円、4歳以上～学生500円。3歳以下は入場できない。山形屋やローソンチケットなどで発売中。みやまコンセール＝0995(78)8000

くらし面への投稿、意見は〒890-8603 南日本新聞社文化生活部（住所不要）、電話099(813)5133、ファクス099(813)5180、メールkurashi@373news.com

南日本新聞音読コーナー

読む

寒月君は芋
手と迷亭か
を優に吸
作物である
察するとそ
において決
もし金田の
迷ったのな
棒君にも惚
理はとにか
才気のある
らこのくら
と分るであ
にこの泥棒
を捧げて琴
違い。万
かされて、
ても、この
夫である。

まで予想し
安心した。
するのは宣
一大要件で
陰士は小
先刻主人が
る。唐桟の
の上にむす
出しのまま
れる。先刻
見ていた、
ながら「寒
は毛布を被
ます。障
たまま微か
ん、むにゃ
突き飛ばし
ぼりぼり掻
枕をはず

原則月一金曜
む場合があり